

2024年11月15日

各 位

科研製薬株式会社

炎症性腸疾患治療薬「ND081」に関する共同研究契約締結について

科研製薬株式会社（本社：東京都文京区、社長：堀内 裕之、以下「科研製薬」）と、Numab Therapeutics AG（スイス、ホルゲン、最高経営責任者：David Urech、以下「ニューマブ社」）は、炎症性腸疾患を対象疾患とする新規多重特異性抗体医薬「ND081」に関する共同研究契約を本日締結しましたのでお知らせいたします。

本契約に基づき、科研製薬は、共同研究契約に関わる契約一時金として約1,300万スイスフランをニューマブ社へ支払います。さらに、非臨床および臨床開発（PoC試験まで）の資金提供と引き換えに、特定の主要アジア地域における「ND081」の商業化権を取得するオプション権を獲得します。ニューマブ社は契約一時金を受け取り、非臨床および臨床開発の主要な実施主体となります。

科研製薬の代表取締役社長である堀内 裕之は、「NM26プロジェクトを通じて信頼関係を築き上げたパートナーであるニューマブ社と再び共同研究の契約を締結する運びとなったことを大変嬉しく思っています。2024年5月に、ニューマブ社との共同研究・開発で進めた「NM26」がJohnson & Johnsonとの知的財産譲渡および販売提携オプション契約締結に至ったのは、当社の研究開発力とニューマブ社の技術力との連携を進めた成果と考えています。今回、両社の持つ技術・リソースを最大限活かすことで、炎症性腸疾患（IBD）に対する画期的新薬を創出するために全力を尽くしてまいります。」と述べています。

ニューマブ社の創設者兼最高経営責任者（CEO）であるDavid Urech博士は、「当社独自のλ-Cap™およびMATCH™技術プラットフォームを活用することを目的とした地域的提携戦略の一環として、当社の複数の特異的プログラムの1つを臨床段階に進めるため、再び科研製薬と提携できることを嬉しく思います。炎症性腸疾患（IBD）における今回の提携は、当社と科研製薬の両社にとって有効なアプローチであり、アトピー性皮膚炎の治療薬として開発中の「NM26」という初の二重特異性抗体に関する以前の共同研究から生まれた強固な関係を基盤としています。NM26は、2024年5月にYellow Jersey Therapeuticsにスピンアウトされ、その後、Johnson & Johnsonに12億5,000万米ドルで買収されました。」と述べています。

以上

【Numab Therapeutics AG】

Numab Therapeutics AG は、炎症および癌の治療を目的とした多重特異性抗体ベースの免疫療法の医薬品を開発する企業です。独自のプラットフォームである λ -Cap™ および MATCH™ を使用した再現可能なプラグ・アンド・プレイ治療設計プロセスにより、ニューマブ社は従来の創薬の障壁を克服し、患者の利益を最大限に高めることを目的とした新薬および重要薬のパイプラインを構築するという独自の立場を確立しています。ニューマブ社の多様な研究パイプラインは複数の治療分野にまたがり、次世代のファーストインクラスおよびベストインクラスの医薬品を生み出す機会を創出しています。ニューマブ社のリード候補である NM32 は、固形腫瘍および造血器悪性腫瘍に広く発現する腫瘍関連抗原である ROR1 を標的とする、ファーストインクラスの半減期延長型 T 細胞エンゲージャーであり、現在、固形腫瘍患者を対象に第 I 相試験を実施中です。ニューマブ社は複数の大手製薬会社と提携し、強固な独自のプラットフォームと開発力を継続的に実証しています。詳細については、<https://www.numab.com> をご覧ください。

【科研製薬株式会社】

科研製薬株式会社は、「一人でも多くの方に笑顔を取りもどしていただくために、優れた医薬品の提供を通じて患者さんのクオリティ・オブ・ライフの向上につとめる。」を企業理念とし、1948 年の設立以来、医療ニーズに即した医療用医薬品の研究開発を行っています。近年は、皮膚科、整形外科におけるプレゼンスを高めており、自社創薬品であり、国内で初めての外用の爪白癬症治療剤である「クレナフィン」は、グローバル製品として成長を続けています。詳細については、<https://www.kaken.co.jp/> をご覧ください。

注意事項:

このニュースリリースに記載されている当社グループの事業に関する将来の見通し等の記述は、現時点で入手可能な情報から予測したものであり、今後の様々な要因により実際の結果とは異なる可能性があります。また、このニュースリリースに含まれている医薬品（開発中のものを含む）に関する記述は、宣伝、広告等や医学的アドバイスを目的としたものではありません。

【本件に関するお問合せ先】

科研製薬株式会社

広報 I R 部

TEL : 03-5977-5002